

令和 8 年 7 月 29 日

ご支援者各位

ガーナよさこい支援会
代表 浅井和子

2026 年ガーナ・日本学生交流行事のお知らせ

謹啓

耐え難いほどの猛暑が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

平素はガーナ高校生よさこい交流プログラムに種々ご支援・ご応援をいただき、誠に有難うございます

さて、今夏もガーナ高校生 20 名（男女各 10 人）を、8 月 21 日から 9 月 7 日まで 18 日間の日本研修旅行に招待いたしました。

日程の前半は東京に滞在、都内の麻布学園を主会場に、上京してくる土佐高校、神戸の六甲学院などの生徒と一緒に様々な交流プログラムを体験してもらいます。

例年通りガーナ産カカオ豆を使用するロッテ浦和工場や、江戸東京博物館、皇居、明治神宮などを見学するほか、ゴミ問題を学習テーマとして、麻布学園での資源再利用実験、最新の杉並清掃工場、東京大学野崎研究室などの訪問を予定しております。

8 月 30 日（日）には、学生合同チーム『ロッテ・ガーナよさこい連』が『原宿表参道元氣祭りスーパーよさこいに』出場いたします。午前 11:10 表参道パレードのトップスタート皮切りに、計 4 会場で若さあふれる踊りをご覧に入れますので、ご都合が合いましたらご声援をよろしくお願い申し上げます。

日程後半は、群馬県太田市（SUBARU 自動車工場を見学）を経由して福島県猪苗代町に移動します。当地では地域ぐるみの温かい歓迎が待っています。猪苗代中学校、同高校、会津大学で生徒さんと交流するほか、ガーナで没した野口英世博士の記念館訪問、会津市内見学などを予定しています。2 泊 3 日のホームステイ体験は、ガーナ人生徒がとりわけ楽しみにしている行事です。

（詳しい日程は添付の『2026 年ガーナ高校生日本研修・交流プログラム＜案＞』をご覧ください。）

2003 年に始まったガーナ高校生の日本研修旅行は、コロナ禍による中断はあったものの今年で 20 回目となりました。日本が大好きになり、夢と希望を抱いて帰国したガーナ高校生の累計は 422 人、交流参加日本人生徒は数千人にのぼります。

両国の将来を担う若者たちのために、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

謹白

連絡先：〒102-0094 千代田区紀尾井町 3-19 紀尾井町コートビル 402 号

浅井・大地共同事業法律事務所 浅井和子 Tel.090-8463-0753

ご寄付受入先 ①ゆうちょ銀行ゼロイチキウ店 振替口座 0572038 ガーナヨサコイシエンカイ
②三菱UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5334586 ガーナよさこい支援会